

東部の指導だより

東部教育事務所
学校教育係発行第11号
平成27年7月21日

保護者の学力観にも変化が

ー 連携して “子ども自身が学ぶ力” の育成を ー

所長 岡島 美智子

日本PTA全国協議会がこのほどまとめた意識調査によると、小中学生の保護者が学力向上のために学校に実行して欲しい方策に「学ぶ楽しさを実感できる授業」と「集中して学習に取り組めるクラスづくり」を挙げている。共に9割で圧倒的に多いという結果であった。これは、授業時数の増加や土曜授業の実施等にみられるいわゆる「授業の量」より「授業の質」の向上を強く求め、自ら考える力の育成に期待しているという結果でもあった。

管内の学校を訪問して気づくことだが、学力向上に向けた素晴らしい実践をしている学校に共通する点がある。その一つは、教職員が高い同僚意識をもって、学校というチームで学力向上に取り組んでいることである。二つ目は、子どもたちに「やらされている感」がなく、勉強も運動も掃除も自然に取り組む姿勢が養われていることだ。そして三つ目は、保護者や地域を巻き込んだ9年間を見通した教科指導や学習習慣の育成が行われていることである。そういう学校では、授業中の子どもたちの声は大きく、動きも速く、機敏である。それを導く教師の表情は変化に富んでいる。きりっとした厳しい口調から優しい声と柔和な表情へと変化する。そういう教師に操られているかのように、子どもたちは自ら課題に取り組んでいく。

先に述べたが、保護者の学力観にも変化がみられ、知識の量よりも子どもたちが学ぶ楽しさを感じながら、主体的に学ぶ姿を求めている。よく地域や家庭の教育力をどのようにして児童生徒の学力向上につなげるかが話題になる。決して育てたい子どもの姿に違いがあるわけではない。学校が、教職員が、地域や保護者からの信頼を得ることで、チーム学校を支える一番の応援団になってくれるのではないかと強く感じる。

平成27年度『確かな学力』研究推進校事業指定校のお知らせ

以下の4校が指定校となりました

指定校： 太田市立城西小学校、桐生市立清流中学校（H26～H28）
館林市立第三小学校、邑楽町立邑楽中学校（H27～H28）

目的： 教育課程の改善充実（授業改善）を中心に、指導体制の工夫・改善、教員の指導力の向上、家庭・地域との連携の視点から、学校全体で組織的・継続的に取り組む学力向上対策について実践をとおして研究し、効果的な方策を明らかにするとともに、研究の成果を広く県内に発信する。

取組内容： 授業公開の取組の発表や発信

その他： 館林市立第三小学校と邑楽町立邑楽中学校は学力向上コーディネーター研究協議会の会場も兼ねます。

コーディネーター研究協議会（小学校教諭対象）

館林市立第三小学校 11月13日（金）

コーディネーター研究協議会（中学校教諭対象）

邑楽町立邑楽中学校 11月19日（木）

※詳細については、追って連絡いたします。

各指定校の取組の概要

<太田市立城西小学校>

学力向上委員会と研修企画委員会が連携して、年度当初に学習のルールやノート指導、板書の仕方、宿題の出し方等を全職員で共通理解し、学びの基盤作りを徹底する中で、「学びをつなげる」取組を推進しています。また、『活用力を育てる授業づくり』、『説明をつなげていく言語活動』を担当一人一人が実践し、支持的風土のある学級経営を基盤とした「授業力の向上」を目指しています。

授業公開の予定（東部管内） 11/26(木)

<桐生市立清流中学校>

学力向上委員会と研修企画委員会が連携し、「授業の改善・充実」、「補習体制の工夫・改善」、「教員の指導力の向上」、「家庭との連携」の4つの柱を核とした組織的・継続的な取組を行います。授業の改善では、考え、表現させる授業を充実させるために、「明確な課題設定」、「考える場の設定」を徹底し、交流活動の効果的なあり方について、全職員で共通理解を目指します。

学力向上講演会の予定 9月、11月に実施予定
授業公開の予定（東部管内） 10/27(火) 国語・数学

<館林市立第三小学校>

学力向上委員会と学年ブロック部会の連携を密にして、児童主体の学習活動を推進します。また、高学年において教科担当制を実施し、教師の専門性を生かした授業の工夫を行っていきます。特に、算数は習熟度別少人数学習を行い、課題である活用する力を伸ばす指導に取り組むとともに、県教委作成の「評価資料集」も有効活用していきます。

授業公開の予定 11/13(金) <学力向上コーディネーター研究協議会>
5、6年教科担当制の授業 国語・社会・算数・理科・体育
1月に実施予定（市内）
低学年：国語、中学年：算数、高学年：算数

<邑楽町立邑楽中学校>

学力向上委員会において、本年度の重点項目を明確にし、全職員で授業力の向上を図って学力向上対策を推進します。「めあて」の設定では、生徒のつぶやきや意見を集約しながら設定していきます。また、「追究場面」では、発問を工夫して生徒にしっかり考えさせ、表現させる時間を確保していきます。さらに、「振り返り」では、自分が学んで得た学習内容を活用させる等、生徒の課題解決能力の育成を図っていきます。

授業公開の予定 10/16(金)（町内）
11/19(木) <学力向上コーディネーター研究協議会>
1月予定（町内）